



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月10日

上場会社名 宮越ホールディングス株式会社
 コード番号 6620 URL <http://www.miyakoshi-holdings.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 宮越 邦正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 板倉 啓太

TEL 03-3298-7111

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	1,000	5.7	342	11.0	594	4.5	318	0.0
2022年3月期第3四半期	1,061	14.1	385	53.5	622	35.5	318	43.8

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,442百万円 (48.3%) 2022年3月期第3四半期 973百万円 (60.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	7.97	
2022年3月期第3四半期	7.96	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	27,453	26,146	89.9	616.87
2022年3月期	26,202	24,904	90.3	591.11

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 24,683百万円 2022年3月期 23,652百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		5.00	5.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,160	17.6	380	23.9	680	20.5	370	43.8	9.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	40,014,943 株	2022年3月期	40,014,943 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期3Q	811 株	2022年3月期	596 株
------------	-------	----------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	40,014,266 株	2022年3月期3Q	40,014,380 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、新型コロナウイルス感染症に対する規制緩和等により、徐々に経済の回復基調が見込まれたものの、ロシアのウクライナ侵攻の長期化による原材料価格の高止まり、為替の急激な変動、欧米各国のインフレ圧力に対する金融引き締めによる景気悪化予測等様々な要因により、世界経済の先行きは不確実性が高まっております。一方で当社グループの事業拠点である中国深圳市においては、ウクライナ情勢等の地政学的リスクについては、当社グループの事業に大きな影響はないものと考えております。

このような状況下、当社グループは引き続き不動産賃貸管理事業の収益基盤の強化に取り組むとともに、再開発事業の着工に備えて、改装費用を伴う長期入居予定の新規テナントの入居の見送り、賃貸契約期限の到来するテナントに対しても再開発の状況を見据えて長期間の契約更新は避けるなどの施策を継続的に実施しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における営業収益は1,000百万円（前年同期比5.7%減）、営業利益342百万円（前年同期比11.0%減）、経常利益594百万円（前年同期比4.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益318百万円（前年同期比0.0%増）を計上いたしました。

不動産開発事業について

当社グループが推進するプロジェクトは、子会社深圳皇冠（中国）電子有限公司（以下「皇冠電子」）が保有する土地（127千㎡）・建物（89千㎡）を再開発し、新たに世界30ヶ国のフォーチュングローバル500企業を始めとした先進的大手外資企業200社を誘致し、進出企業が本格的なR&Dやマーケティング拠点もしくは中国本社機能を置き、新たなイノベーションを巻き起こすための大規模施設「ワールド・イノベーション・センター」（仮称：WIC）（総床面積70万㎡）を建設する構想です。

WICプロジェクトは、広東省9都市に香港、マカオを加えた湾岸都市経済圏の大湾区（グレーターベイエリア）を中央政府が「全国の先頭に立ち、模範的なイノベーション、テクノロジー及び経済・文化の牽引役」となるエリアとして明確に位置付け様々な優遇政策を打ち出しており、特にハイテク、先端医療分野において発展の度合いを高めていく国際都市深圳市の中心部において建設を予定しております。

このような環境下、WICはハード面において自然環境を重視した持続可能な開発目標（SDGs）を意識した施設を建設し、ソフト面においては中国政府の協力を得て、WICを起点に中国の主要経済都市（13省・4直轄市）の政府と連携しビジネスの拡大を可能にするネットワーク構築や言語の障壁を無くす為に多言語自動翻訳機を導入し、更に24時間365日対応のコンシェルジュサービス等の提供により、進出企業のイノベーション創出を支援いたします。

一方では、深圳市政府の委嘱を受けて精力的な企業誘致活動も行っており、日本をはじめ欧米圏のフォーチュングローバル500企業を中心に90社の大手企業が強い関心を示しており、今後開発手続きが進むに従ってWICへの進出希望企業が増加するものと思われま

当社グループの報告セグメントは、「不動産開発及び賃貸管理」のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産総額は27,453百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,251百万円増加いたしました。これは主に為替相場の変動により在外子会社の現金及び預金が増加したことによるものであります。

負債は1,307百万円となり前連結会計年度末に比べ9百万円増加いたしました。これは未払金等の増加によるものであります。

純資産は26,146百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,242百万円増加いたしました。これは主に為替換算調整勘定の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。今後、業績予想等に修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,397	10,407
営業未収入金	323	155
その他	845	860
貸倒引当金	△198	△32
流動資産合計	10,367	11,391
固定資産		
有形固定資産	7	205
無形固定資産		
のれん	118	88
土地使用権	959	1,031
その他	0	0
無形固定資産合計	1,078	1,121
投資その他の資産		
長期貸付金	13,340	13,312
その他	1,408	1,423
投資その他の資産合計	14,748	14,736
固定資産合計	15,834	16,062
資産合計	26,202	27,453
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	89	88
引当金	2	1
その他	301	255
流動負債合計	392	344
固定負債		
退職給付に係る負債	7	8
その他	897	954
固定負債合計	905	962
負債合計	1,297	1,307
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,217	9,217
資本剰余金	8,962	8,962
利益剰余金	5,241	5,360
自己株式	△0	△0
株主資本合計	23,421	23,539
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	231	1,143
その他の包括利益累計額合計	231	1,143
非支配株主持分	1,251	1,463
純資産合計	24,904	26,146
負債純資産合計	26,202	27,453

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
営業収益	1,061	1,000
営業原価	130	151
営業総利益	930	849
販売費及び一般管理費	545	506
営業利益	385	342
営業外収益		
受取利息	184	209
その他	55	41
営業外収益合計	240	251
営業外費用		
固定資産除却損	3	-
営業外費用合計	3	-
経常利益	622	594
特別損失		
新株予約権失効損	10	-
特別損失合計	10	-
税金等調整前四半期純利益	612	594
法人税、住民税及び事業税	238	216
法人税等調整額	9	13
法人税等合計	247	229
四半期純利益	364	364
非支配株主に帰属する四半期純利益	45	45
親会社株主に帰属する四半期純利益	318	318

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	364	364
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	608	1,078
その他の包括利益合計	608	1,078
四半期包括利益	973	1,442
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	831	1,230
非支配株主に係る四半期包括利益	141	212

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の注記事項(重要な会計上の見積り)に記載した会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響に関する前提に、重要な変更はありません。